

## SCHEME | 紛争予防・平和構築無償

### 紛争予防・平和構築無償とは…

紛争予防・平和構築無償は、開発途上国における元兵士の社会復帰、小型武器回収、民族融和などの紛争予防・平和構築を目的として行う無償資金協力です。開発途上国で実施されるプログラムに必要な物品やサービスの調達のために必要な資金を供与するものです。

ノン・プロジェクト無償の枠内のスキームとして2002年度から実施されています。

## JICSの役割

JICSは2002年度より、開発途上国政府との契約に基づき、実施監理機関として、資金管理をはじめ、プログラムの形態に即して、活動の管理、支援などを行っています。



シエラレオネ—船が修理され、住民や物資の輸送が可能になった



シエラレオネ—職業訓練の様子。生徒の多くが元兵士



シエラレオネ—支援によって設置された井戸で水を汲む少女



シエラレオネ—用水路が修復され、水田や養魚場に水が引かれた

### 業務の流れ



### 事業実績

対象国	案件年度	案件名
シエラレオネ共和国	2002	紛争予防・平和構築無償
カンボジア王国	2002	紛争予防・平和構築無償（カンボジアにおける平和構築と包括的小型武器対策プログラム）
カンボジア王国	2004	紛争予防・平和構築無償（カンボジアにおける平和構築と包括的小型武器対策プログラム）

## ケーススタディ CASE STUDY 紛争予防・平和構築無償（シエラレオネ共和国） 2002年度

●事業概要：英国政府がシエラレオネで展開してきた「コミュニティ再統合計画フェーズ2（CRP2）」を支援するため、日本政府から供与された資金の管理、および資金の使用目的やプログラムの効果のモニタリングを実施

#### 日英共同でシエラレオネの復興に貢献

英国政府がシエラレオネにおいて展開した「コミュニティ再統合計画フェーズ2（CRP2）」は、帰還兵士の社会復帰や教育、医療、インフラ整備など幅広い分野での支援を通じてシエラレオネの取り組む内戦後の復興を促進するものです。日本政府はCRP2の活動を支援するという形でシエラレオネへの無償資金協力をを行い、紛争予防・平和構築の分野において初めて日英政府が協力してプロジェクトを進めました。

JICSは実施監理機関として、2003年9月と2004年1月の2回にわたって現地のモニタリングを行い、シエラレオネ北部の広範囲においてプロジェクトの実施状況などを視察しました。視察した職業訓練学校に通う元兵士からは、技術を身に付けることによって、自分も祖国の復興に何らかの形で寄与したいとの思いが語られました。

1回目の視察の際には、日本が支援していることについてあまり知られていませんでしたが、2回目にはほとんどの地域で知られるようになっていました。また、行き交う人々、露店の数も増え、この支援が地域社会の復興や住民の安定した生活を保障することに貢献している様子がうかがえます。



職業訓練学校の生徒から、制作した机についての説明を受けるJICS職員（左）と英国援助関係者（右）



職業訓練学校の卒業証書を手にした生徒。証書には日英両国の国旗がデザインされている